サイド扉 ～SR-3S～
壁面扉　～SN-3S･H～　組立説明書

株式会社 稲葉製作所

●梱包別部品一覧表

サイド扉を組み立てるには、次の部品が必要です。
梱包内の部品数を確認の上、組立順序にしたがって組み立ててください。

●SR･SN共通

梱包番号 H9-0360(1360)

品番	部品名	数
71	サイド(壁面)扉枠左S	1
72	サイド(壁面)扉枠右S	1
73	サイド(壁面)扉鴨居	1
74	サイド(壁面)扉敷居	1
75	扉枠支柱S	2
部品袋	M6ボルト	9
	ネジ板B	5
	戸車調整用ボルト	2
	土台支柱穴用ブッシュ	1
	ボルトキャップN(GR)	8
	組立説明書	1

●SN-3S･H

アーバングレー(UG)
梱包番号 H9-0361(1361)

ファインシルバー(FS)
梱包番号 H9-0364(1364)

品番	部品名	数
33	壁面扉正面パネル	1
34	壁面扉中	1
35	壁面扉前	1

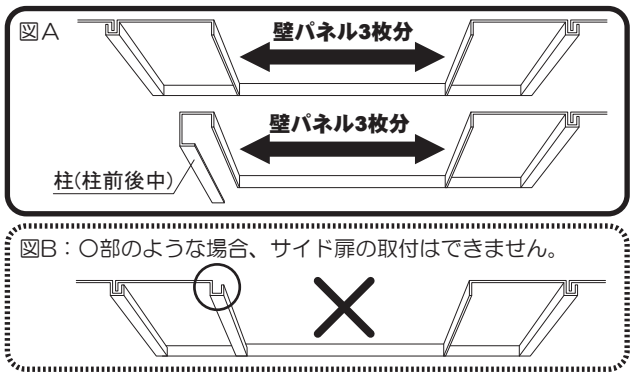
※( )内は、SN-3Hを示す。

●SR-3S　梱包番号 H9-3061

品番	部品名	数
33	サイド扉正面パネル	1
34	サイド扉中	1
35	サイド扉前	1

★組立上の注意

壁パネルと壁パネル、柱と壁パネルとの間にサイド扉を取り付ける場合は、必ず図Aのように壁パネルのフラットな面が内側に来るようにしてください。

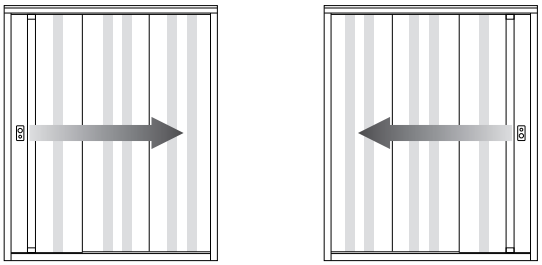


■扉を逆開きにする方法

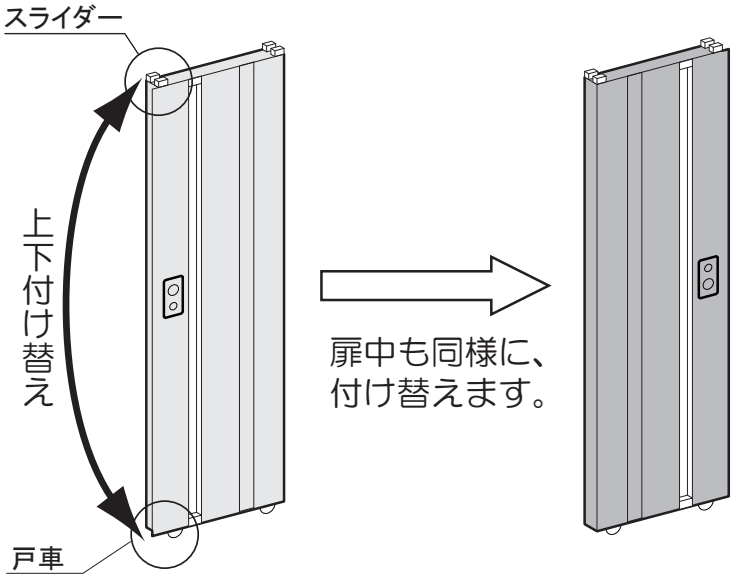
扉は標準(工場出荷時)では、左開きにセットされています。

右開きにする場合は、

①**「2.鴨居･敷居取付」**で敷居のネジ止めを反対にします。
②**「5.正面パネル取付」**で正面パネルを反対に取り付けます。
③**「6.扉取付」**で扉の戸車とスライダーを上下付け替え、扉を上下逆にして取り付けます。(下図参照)
【扉枠右に付いている鍵穴パッキンを扉枠左に付け替えます。】

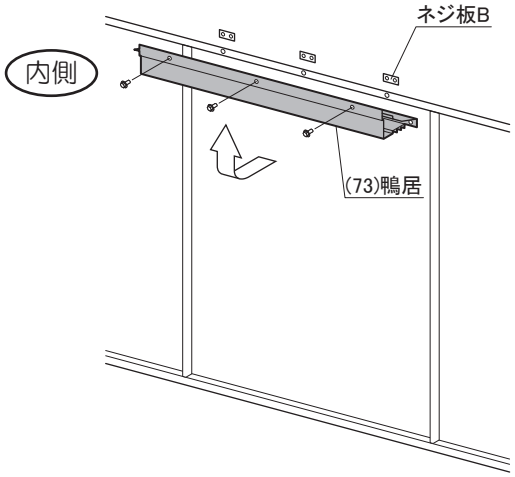


左開き(標準)　**※右開き(下記参照)**



1.鴨居取付

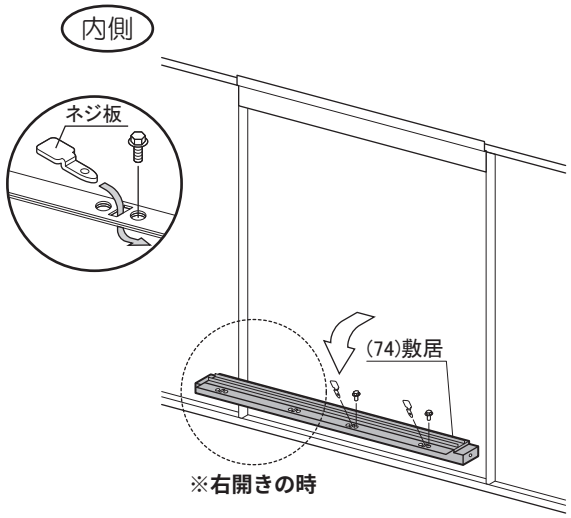
(73)鴨居をボルトとネジ板Bで取り付けます。



ボルト=3本
ネジ板B=3枚

2.敷居取付

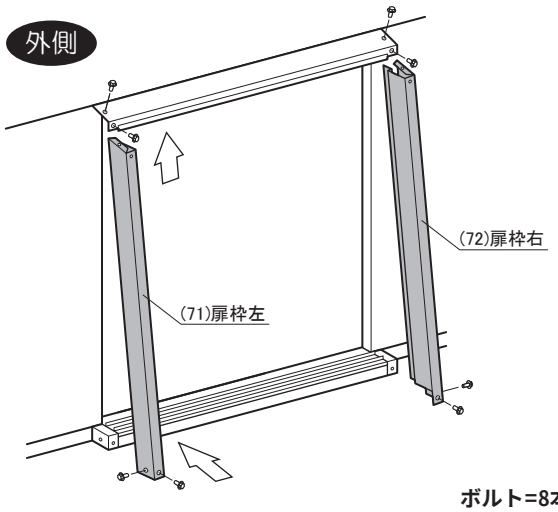
(74)敷居を土台にボルトとネジ板で取り付けます。
※右開きの時は、点線内の位置に固定してください。



ボルト=2本
ネジ板=2枚

3.扉枠左右取付

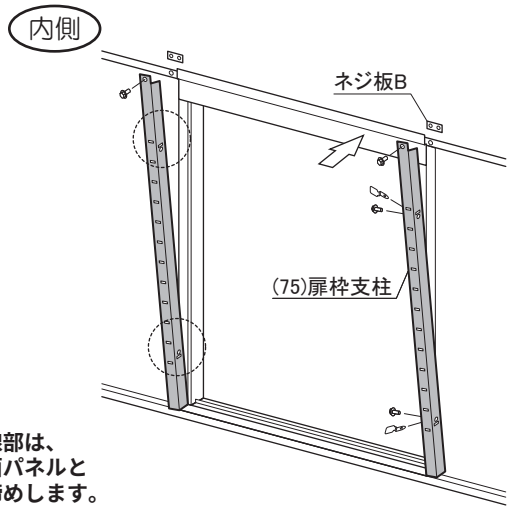
(71)扉枠左、(72)扉枠右を鴨居と敷居にボルトで取り付けます。



ボルト=8本

4.扉枠支柱取付

(75)扉枠支柱は上部をボルトとネジ板Bで取り付け、縦方向はボルトとネジ板で扉枠と共締めします。



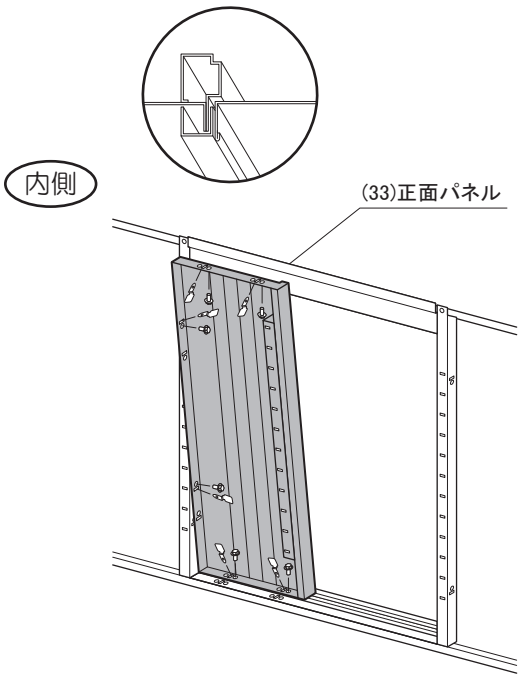
※点線部は、
正面パネルと
共締めします。

NX,FX,KX型の時は、縦方向にパッキン付ネジ板を使用。

ボルト=4本
ネジ板B=2枚
ネジ板=2枚

5.正面パネル取付

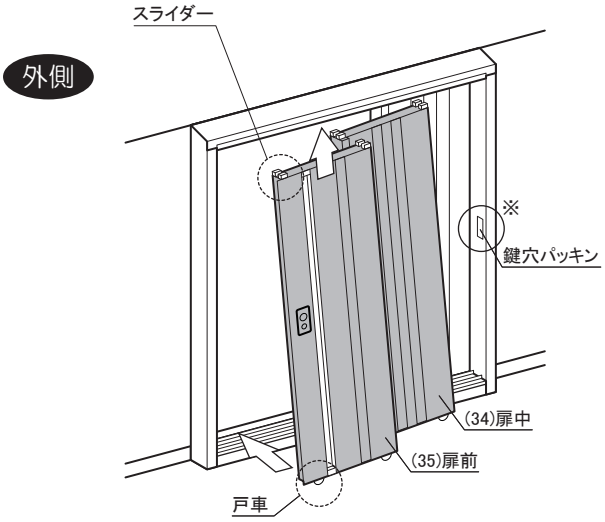
(33)正面パネルをボルトとネジ板で取り付けます。
※右開きの時は、正面パネルを右側に取り付けます。



ボルト=6本
ネジ板=6枚

6.扉取付

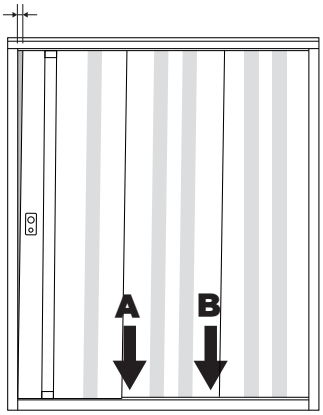
(35)扉前はスライダーを鴨居のレールに差し込み、戸車を敷居のレールにのせてはめ込みます。
※右開きの時は、鍵穴パッキンを反対側に取り付けます。



★戸当たり調整

扉を閉めて下図のようにスキマが出来た場合は、A･B部の戸車を①②③の手順で整理してください。

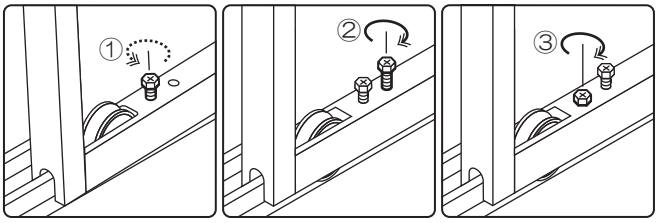
※5mm以内



①戸車を固定しているボルトを4～5回転ゆるめる。

②部品箱内の戸車調整用のボルトで戸当たりを調整する。

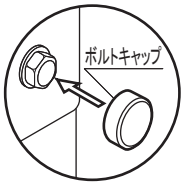
③最初にゆるめたボルトを締め付ける。

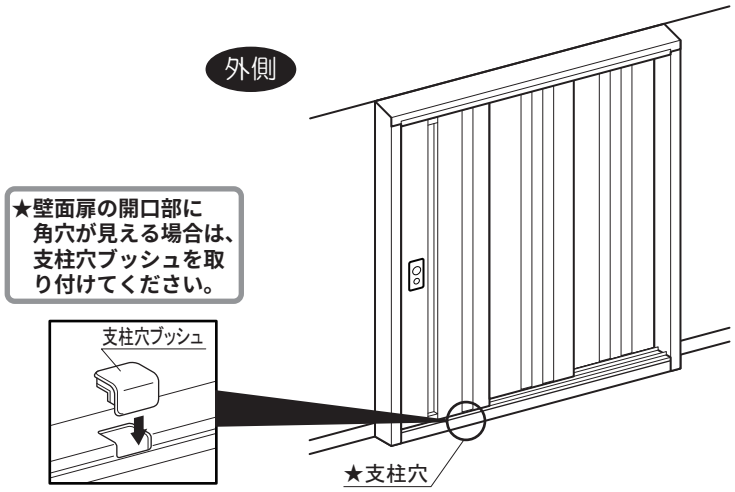


※5mm以上のスキマや上部の要領で調整できない時は、土台の水平を直してください。

7.完成

外に出ているボルトにボルトキャップを取り付け完成です。





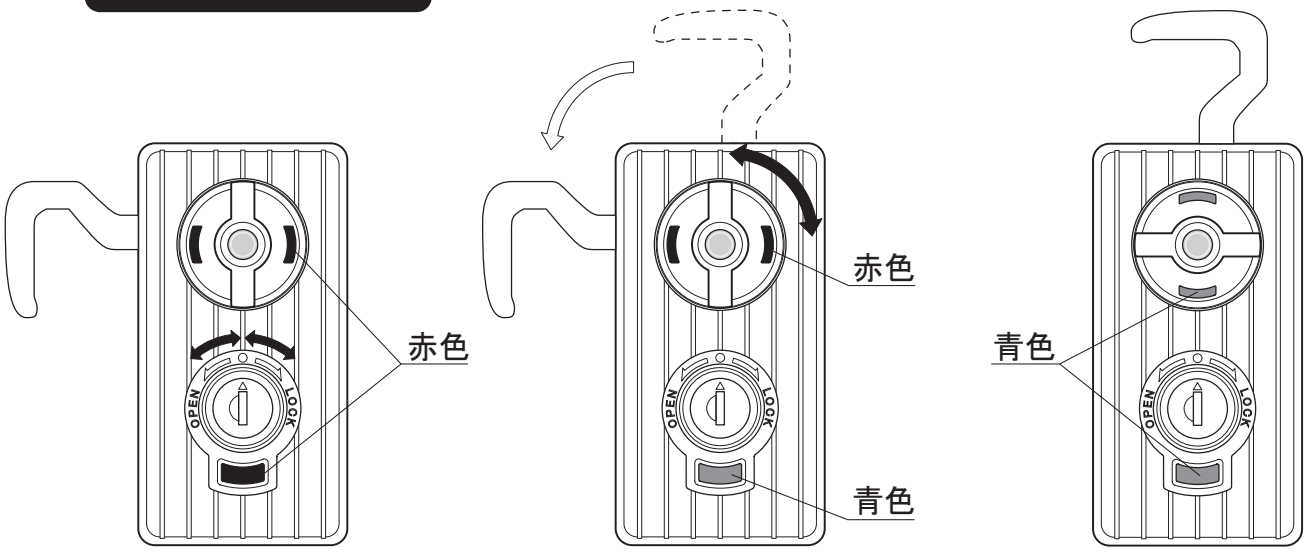
ボルトキャップ=8個

SR-3S 錠操作説明書 ※SN-3S･H の錠操作の説明は本体取扱説明書をご覧ください。

サイド扉（SR-3）の施錠･仮ロック操作について

錠は鍵を使わずに、 仮ロックできる機構が付いています。 下記方法に従って施錠してください。

外側からの操作方法



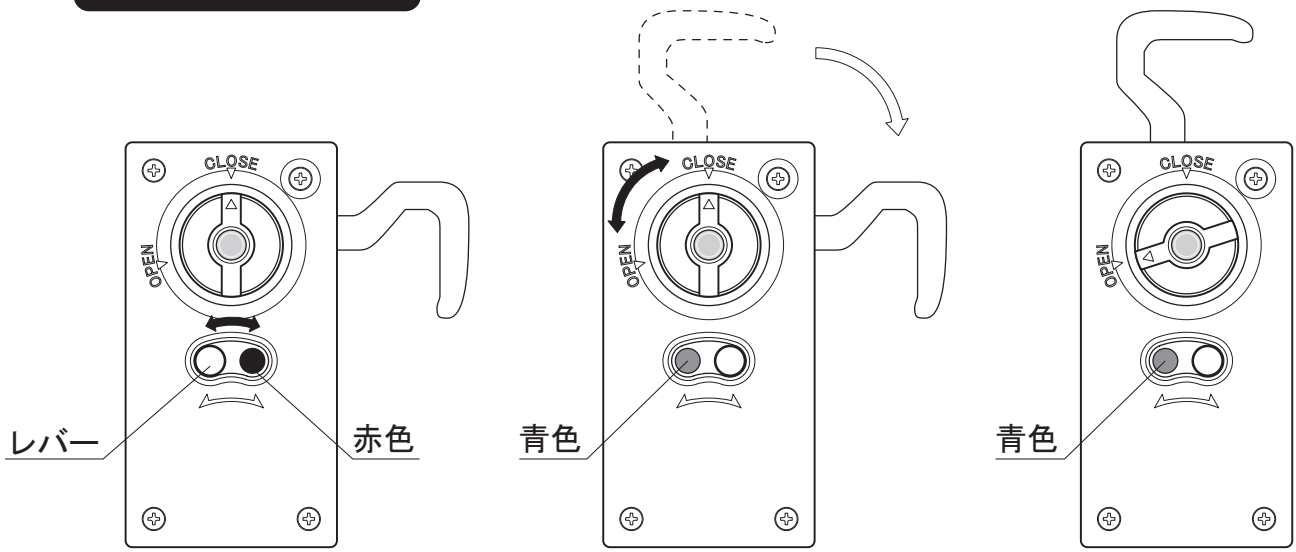
鍵を差し 45 度回し垂直に
戻して鍵を抜く

つまみを 90 度回す

施錠状態 ⇔ 仮ロック状態 ⇔ 開錠状態

⚠注意　**仮ロック状態では鍵はかかっておりません。 施錠の際は必ず鍵を使ってください。**

内側からの操作方法



レバーを左右に動かす

つまみを▽印の位置まで回す

施錠状態 ⇔ 仮ロック状態 ⇔ 開錠状態

つまみを OPEN▽印の位置まで回す

⚠注意　**収納物が扉に倒れ込むなどして扉が開かなくなった場合、 強引に開けようとすると扉が脱落し、 ケガなどの原因となる恐れがありますのでご注意ください。**